



◎第九回道路職員講習會

本會主催第九回道路職員講習會は八月二日より八日まで七日間、東京帝國大學工學部教室に於て開催した。恰度世界教育會議が時と所を同じうして開催せられたため東京帝大構内は非常に賑ひを呈し、延いては道路講習會も若干不便を忍ばねばならなかつたが、均しく學究の集會であり世界教育會議の方が、内外三千人の會員が殺到し、道路講習會も、豫想を遙かに突破して二百五十餘名の講習員が參集する盛況を呈しながら何れも靜かに其の目的を十分に達したの喜ばしい。

講習會は八月二日午前九時三十分開會、水野會長都合に

より出席せられず、直ちに内務省土木局長本會理事赤松小寅氏の開會の挨拶によつて初められ、左記時間割の通り講義及見學を行つた。

第九回道路職員講習時間表

八月二日（月曜日）

開會之辭 三十分間 會 長 水野鍊太郎

挨拶 三十分間 内務省 赤松 小寅
土木局長

挨拶（道路技術家に對する希望） 三十分間 内務技監 辰馬 鎌藏

道路政策 一時三十分間 内務省土木 阿部 邦一
局道路課長

最近のコンクリート鋪裝の趨勢 一時三十分間 内務技師 大石 義郎

輓近の歐米諸國の土木工事 一時間 内務技師 山下 輝夫

八月三日（火曜日）

推獎すべき簡易鋪裝の築造並維持 二時間 東京市土木 山本 亨
試驗所長

推獎すべき簡易鋪裝の築造並維持

二時間 東京市土木 山本 亨
試驗所長

道路構造 二時間 内務技師 菊池 明

路面の滑り抵抗 一時間 内務技師 小澤久太郎

道路路線の設定について

一時三十分間 内務省土木試験所長 藤井 眞透

八月四日(水曜日)

災害防止より見たる橋梁の下部構造

一時間 内務技師 鈴木 清一

電氣銲接工法 二時間 内務技師 青木 楠男

砂利道の路面維持 一時間 京都府京都府土木部長 岩崎 雄治

道路占用工作物 一時間 内務技師 金子源一郎

本邦國道の改良 一時間 内務技師 和田 重辰

歐米諸國の橋梁 一時間 大阪市技師 堀 威夫

八月五日(木曜日)

新宿御苑拜觀 午前中

新京濱國道 一時間 内務技師 岩澤 忠恭

各地方ニ於ケル砂利道維持ニ關スル體驗 二時間

栃木縣道路技師兼土木技師 小村宏・秋田縣道路技師

八月六日(金曜日)

兼土木技師 池邊晋・宮崎縣道路技師 平基

午前八時帝大正門前集合 内務省土木試験所赤羽分室及
内務省土木試験所(本郷)見學 午後二時迄

道路談話會帝大工學部教室 二時間

八月七日(土曜日)

道路用コンクリート 一時間 内務技師 佐藤 寛政

土質力學 二時間 東京帝國大學 工學部助教授 野坂 孝忠

修了式 午前十時三十分

八月八日(日曜日)

午前八時三十分芝區芝浦東京市土木試験所に參集し乳劑

プラント、簡易鋪裝見學ノ後、横河橋梁製作工場にて實

地見學

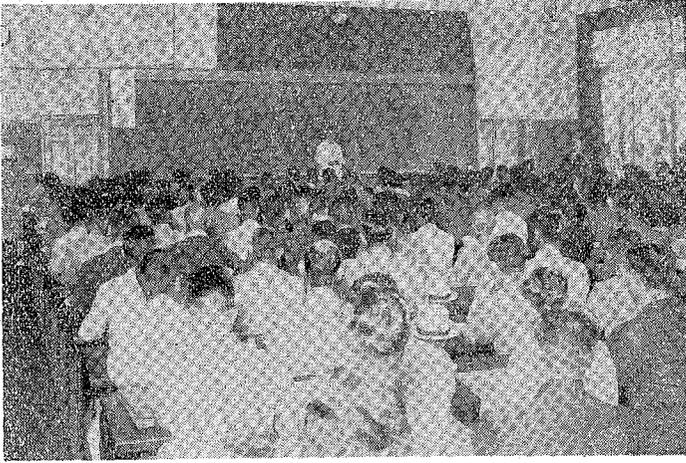
尙、科外講演として友邦滿洲國技士帆足滿洲男、關野明

の兩氏が滿洲國土木行政一般及び滿洲國國道改良事業の實

情に就て興味ある講演があり、灼くが如き炎暑の中講習員

も講師も汗みどろになつて熱心な研究が進められ、これま

での講習會で時々不評を浴せられた講習員の途中濃塵もな



第一圖 東京帝國大學工學部教室

く張り切つた講習

で終始さ

れた。

特に今

回の講習

會に於て

は初めて

の試みと

して左記

要項によ

る道路談

話會を開

催したが

これは、

自由質疑パーテイで夫々の部門に付、何でも御座れの質

問引受所であつて非常な好評を博し、各部會共熱心なる質
疑應答が繰り擴げられ、時間の過ぎるを忘れるが如き盛況
であつた。

部會長及部會委員

部會 部會長

鋪 裝 金森内務技師

橋 梁 青木内務技師

道路行政 細田内務事務官

道路構造 金子内務技師

終了式は八月七日午前十一時から行はれた。水野會長か

ら、炎暑の折柄にも拘らず講師、講習員何れも始終熱心で

あつたことを謝すると共に各位に於かれては本講習の效果

を實地に應用し、我國道路の改良に盡力せられたい旨を希

望し井尻長崎縣技師講習員一同を代表して謝辭を述べ、式

部會委員

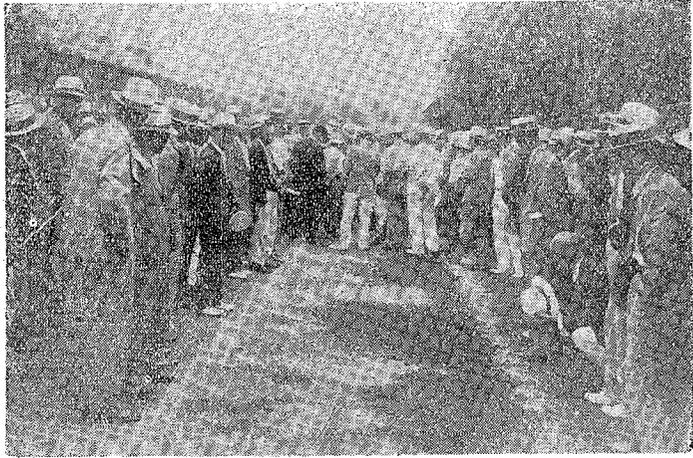
西川内務技師、大石内務技師、金子(仁)内務技師、佐藤(實)内務技師、山本東京市技師、福島内務技師、

鈴木内務技師、小澤内務技師、富樫内務技師、奥田内務技師、

谷口土木事務官、兵藤内務技師、

山田内務技師、岩澤内務技師、和田内務技師、菊池内務技師

を終つて一同記念撮影を行ふた。

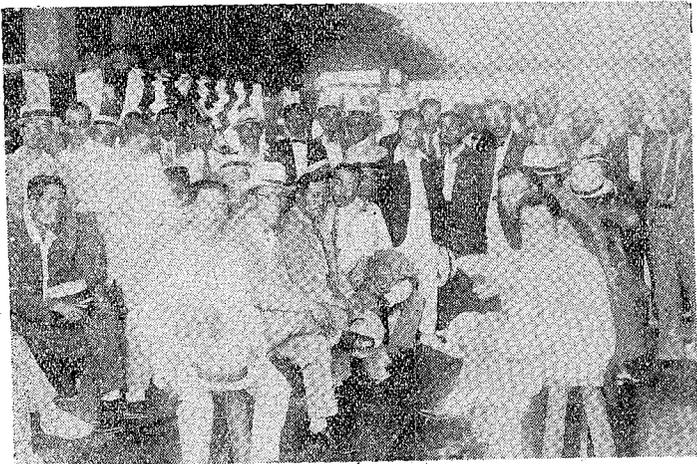


第二圖 簡易舗装の實施狀況

新宿御苑の拜觀は平井囃託引率の下に行はれた。内務省土木試験所の見學は炎暑の候にも拘らず藤井所長初め所員總出で熱心に

説明され、東京市土木試験所及横河橋梁製作所の見學は、

終了式後にも拘らず講習員二百餘名出席し、東京市土木試



第三圖 横河橋梁製作所に於て

驗所では山本所長初め所員各位乳劑ブランドの製造方法の説明を聴き、更に、簡易舗装を實際に行ふて、色々な注意や説明まで興へ

られ、次で、横河橋梁製作所を見學に方つては同所の小室

土木技手兼道路技手

蛭田年

栃木

縣

道路技手

星早次

同

山田茂夫

土木技手

長光喜一

親圃村助役

前澤林三

茂木町履

小野正夫

眞岡町履

仲野勇三郎

奈良

縣

道路技手

平野一十

同

上田清一

同

増田金松

同

鎌田善造

三重

縣

土木技手兼道路技手

阿部春太郎

道路技手

調強

愛知

縣

道路技手

熊田勇

道路技手兼土木技手

酒井清太郎

道路技手

高木榮

土木書記

征本忠恕

名古屋市技師補

水野太賀

豊橋市技師

浦志重基

豊橋市技手
一宮市技手補

静岡

縣

道路技手

同

土木技手

静岡市土木技手

熱海市技手補

山梨

縣

土木技手兼道路技手

道路技手兼土木技手

同

同

甲府市技手

道路技手

土木技手

同

大津市技手

技手

道路技手兼土木技手

栗田益吉

加藤徳治

宮崎孝介

青野源一郎

海野弘一

志賀毅

太田英雄

山田秀雄

三浦邦一

石原大

吉田長治

川手良親

島田文雄

島林理三郎

秋草清

北居直次郎

堀内増藏

麻生謙三

新井誠雄

同

道路技手

同

道路技手兼土木技手

同

道路技手

同

同

同

道路技手

同

土木技手

平市技師

喜多方町書記

道路技手兼土木技手

同

道路技手

同

梅津菊美

北田霞

原正信

田中千東

宇田倉三

鈴木盛夫

菱沼武雄

菅原新吉

松山幸三

木村吾一

渡邊重雄

齋藤忠雄

神長倉春造

本名美吉

雜賀大三

遠藤靖

原田敏郎

佐藤俊明

山形縣

道路技手

同

同

同

同

大泉村書記

秋田縣

道路技師兼土木技師

道路技手兼土木技手

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

吉川政光

三浦靖

遠藤半兵衛

山下秀吉

小池留太

池邊晋

杉澤久次郎

三上三郎

榎寶一

佐藤正治郎

南多利男

清水忠雄

塚本和三雄

橋本勇吉

田中利平

米澤重平

和田豐夫

小笹徳藏

鳥取縣

道路技手

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

科塾收藏

久保裕

岡崎武夫

網野規文

今井好二郎

入交五郎

手塚鯉治

西長義夫

松本清一

松本愛治

正木肇

川崎茂夫

村橋秋一

砂原政務

高瀬義富

河内清三

上田正

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

道路技手兼土木技手

宇部市技手

和歌山縣

道路技手

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

秋本健三

村松秀雄

西田竹一

牧田繁

齋宮富男

吉井運平

三谷熊太郎

坂野昇

延原研一

古市正蓮

高橋要

三宅義通

松野清

水田莊助

前田泰吉

山東盛彦

平島義雄

道路技手 日野寛一郎 鹿兒島縣 臺灣 辰己造

道路技手兼土木技手 許斐亮夫 道路技手 加鹽正義 技手 今野覺治

土木書記 清水一 土木技手 中馬純丸 同 關東州 吉岡榮夫

福岡市技手 瀨口三郎 鹿兒島市技師 河野次男 同 關東州 吉岡榮夫

穂波村技手 安部永次 鹿兒島市技手 橋口肇 土木技師 滿洲國 米田稔

大分縣 豐島管一 技手 沖繩縣 赤司壽夫 技手 滿洲國 帆足滿洲男

道路技手 影山正勝 土木助手 西銘生一 同 同 大和 大貳

道路技手兼土木技手 飯倉喜代人 朝鮮 岡喜章 同 同 鹿野明

別府市技手 佐賀縣 總督府技手 小野寺啓治 雇 吉林省技師 鹿毛博人

道路技手兼土木技手 淵上覺 京城府土木技師 田丸榮春 同 兵頭仁

同 光岡富作 京城府土木技手 岸川嘉一 同 內務省下關土木出張所

熊本縣 坂田靜雄 京畿道土木技手 中島源次 技手 桑幡五郎

土木技手兼道路技手 坂田靜雄 同 黃海道土木技手 吉富一男 同 同 加來源太郎

同 及川龍雄 咸鏡南道土木技手 小川六郎 同 同 萩尾勇三

宮崎縣 平基 平安北道技手 岩上潤次

道路技師 同

同

同

◎近刊の圖書雜誌

◎土木(三五號)

(伊達芳夫氏)昭和九年九月の風水害と橋梁、星山行三

氏)災害橋梁復舊工事計畫概要、成松清雄氏)災害復舊

定規定解説)

◎警察協會雜誌(八月號)

(岡本京都府警務課長)皇太后陛下御警衛感想錄)

○大阪 (一三卷九號)

○港灣 (一五卷八號) (列國港灣事情)

○公園綠地 (六月號、七月號) 神奈川縣工場綠化特輯號

○科學畫報 (一七卷八號)

(關原勝氏 無聲音送話器、新垣醫學博士 血液型と性格、杉原莊介氏 日本にもあつた湖上生活)

○電氣通信學會雜誌 (一七二號)

○乗合自動車 (一一卷七號)

(堀内良平氏 跛行景氣の打開策として國道府縣道の全面的鋪裝を提唱す、日本乗合自動車協會の陳情 交通省設置に關する件、道路の兩側に市場を設置せしめられざる様相願たき件、道路面の電柱は速かに路面外に移轉せしめられたき件等)

○石油時報 (六月號)

○都市問題 (二五卷二號)

(弓家七郎氏 英吉利に於ける地方自治體の監督、竹中龍雄氏 我國に於ける市營市街電車企業の成立と其背景)

○セメント界彙報 (三三三號)

(コンクリート道路構造に振動法)

○自警 (八月號)

○法律時報 (九卷八號)

○土木學會誌 (二三卷八號)

(應部屋工學博士 フィーレンデイル構橋の實用計算法に就いて、島田八郎氏 鋪裝コンクリートの熱的性質に就いて)

○國立公園 (七月號)

○觀光聯盟情報 (一卷八號)

○臺灣技術協會誌 (第一輯四號)

○土木建築工事畫報 (一三卷八號)

(中西幸男氏 鹿島橋改築工事、丸山稅三氏 倉吉津線道路復舊工事、片岡紀一氏 大和川大橋架設工事)

○日立評論 (二〇卷八號)

○水利と土木 (一〇卷八號)

○大阪商工會議所月報 (八月號)

(武田鼎一氏 武裝的國際親善策提唱)

○建設 (二卷四號)

(山本桂一氏 朝鮮の道路に就いて、江守保平氏 滿洲國土木行政の新陣容、高野技士 新京大連間驛傳道路)